

令和 8 年度 第 1 回 佐久市立近代美術館協議会 次第

日 時 令和 8 年 6 月 30 日 (火) 15:00～16:00
場 所 佐久市立近代美術館 視聴覚室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項 (15:10～15:55)

- (1) 令和 7 年度事業報告について (10分)
- (2) 令和 8 年度事業について (10分)
- (3) 令和 9 年度以降の事業について (5分)
- (4) 佐久市立近代美術館の現状と課題について (15分)
- (5) その他 (5分)

報告事項

- ・ 条例改正の結果報告について

連絡事項

- ・ 第 2 回協議会の日程について

4 閉 会

令和8年度佐久市立近代美術館協議会委員

氏 名 ふ り が な	住 所	所属等	備考
武重 直人 たけしげ なおと	佐久市茂田井	一級建築士	会長
臼田 志保子 うすだ しほこ	佐久市桜井	佐久美術会会員 創佐久会会員	職務代理
萩原 さやか おぎはら	佐久市原	公募	
小澤 正行 おざわ まさゆき	佐久市三塚 泉小学校	泉小学校長	
木下 日和 きのした ひより	佐久市中込	佐久美術会会員	
工藤 美幸 くどう みゆき	佐久市長土呂	近代美術館友の会会員	
小林 泰 こばやし ゆたか	佐久市長土呂	デザイナー	
高 柳 剛士 たかやなぎ つよし	佐久市岩村田 岩村田高等学校	岩村田高等学校 美術科教諭	
堀内 文雄 ほりうち ふみお	佐久市下小田切	公募	
柳澤 礼子 やなぎさわ れいこ	佐久市猿久保 中央公民館	中央公民館長	

佐久市立近代美術館 職員名簿

佐久市教育委員会

教育長	神津 長生
社会教育部長	春山 也寸志

佐久市立近代美術館

館長	竹村 忠彦	(会計年度任用職員)
事務長	篠原 はづき	
係長	市川 佳宏	
係員	滝沢 彩乃	
係員	土屋 信	
係員	前川 知里	
	由井 はる奈	(会計年度任用職員)
	中條 弘崇	(会計年度任用職員)

(令和8年4月1日現在・佐久市立近代美術館)

令和7年度 近代美術館 事業報告

1 事業方針

美術文化振興のため、収蔵する美術品の保存管理を行って次世代に継承し、いつでも地域住民が美術鑑賞できるように展覧会等事業を行う。

地域住民が美術に親しみ、美術に関心を高める機会とするため、公募展・講演会・講習会等の事業を行う。

2 収蔵資料の状況

(点)

分野	日本画	油彩画	水彩画	素描	版画	彫刻	工芸	書	その他	二次資料	計
点数	876	949	68	275	254	173	234	463	129	37	3,458

(令和8年3月31日現在)

※令和7年度新収蔵資料 8点（日本画3点、油彩画4点、工芸1点）

3 観覧者人数及び観覧料等収入の状況

(1) 観覧者数

	観覧者数	開館日数	観覧者数/日	対前年度比増減率
令和元年度	11,096人	181日	61.3人	
令和2年度	5,899人	171日	34.5人	56.2%
令和3年度	9,789人	211日	46.3人	134.2%
令和4年度	7,737人	184日	42.0人	90.7%
令和5年度	6,694人	212日	31.5人	75.0%
令和6年度	8,782人	221日	39.7人	126.0%
令和7年度目標	10,000人	216日	46.2人	116.3%
令和7年度結果	8,972人	216日	41.5人	104.5%

※令和2年度以降の観覧者数は展覧会を鑑賞しなかった入館者を含む

※令和3年度は令和2年度事業の第35回佐久平の美術展観覧者数を含む

(2) 観覧料等収入

	観覧料	図録等取扱費
令和元年度	1,721,110円	182,010円
令和2年度	369,350円	150,975円
令和3年度	20,940円	200,704円
令和4年度	874,510円	267,468円
令和5年度	1,017,690円	202,344円
令和6年度	1,238,890円	210,870円
令和7年度	1,511,470円	394,964円

4 事業の概要

(1) 開館日数 216日（令和6年度221日）

(2) 開館時間 9:30～17:00

(3) 観覧料 令和2年度から引き続き、令和4年5月8日（日）まで観覧無料を試行
令和4年7月16日（土）から18歳未満及び高校生以下観覧無料を試行

(4) 開催展覧会

展覧会名	内 容	会 期	開館 (日)	観覧者 (人)
田村文雄版画展—虚が実を支配する— 「ふしぎ」な美術 新・収蔵品展—令和5年度収蔵— (目標観覧者数:1,080人)	【企画展】 【コレクション展】	4/1(火) —5/6(火)	32	645
佐久市立近代美術館・佐久市立天来 記念館連携企画 比田井天来とその 流れ 近代日本画から現代の日本画へ—日本 美術院再興110周年を記念して— (目標観覧者数:1,280人)	【企画展】 【コレクション展】	5/17(土) —6/22(日)	32	680
「佐久平の美術展」の作家たち (目標観覧者数:1,560人)	【企画展】	7/19(土) —8/31(日)	39	1,457
佐久地域ゆかりの作家 塩川高敏 水辺の風景 (目標観覧者数:1,800人)	【企画展】 【コレクション展】	9/13(土) —11/3(月)	45	1,339
第14回比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展 (目標観覧者数:1,330人)	(文化振興課所管事業)	11/22(土) —12/14(日)	19	1,313
第40回佐久平の美術展 同時開催 佐久平の美術展 第39回受賞者展 (目標観覧者数:950人)	地域の美術愛好家対象の 公募展	1/4(土) —1/26(日)	19	968
第21回佐久市児童生徒美術展 同時開催 第21回佐久市児童生徒写生大会作品展 日向裕 —佐久市立近代美術館コレクションより / 佐久市立近代美術館 展覧会ポスター展 佐久市立近代美術館友の会作品展 (目標観覧者数:1,400人)	令和7年度中に市内小中学校 で児童生徒が制作した作品の 選抜展。「佐久市 日向裕・ 綾 美術振興基金」充当事業、	2/7(土) —2/23(月)	14	1,355
動物たち大集合! —美術の中に息づ くいきもの— 特集: 平山郁夫 新・収蔵品展—令和6年度収蔵— (目標観覧者数:600人)	【コレクション展】	3/8(日) 3/14(土) —3/31(火)	16	808
			216	8,565

(5) 開催企画展（再掲）

① 田村文雄版画展―虚が実を支配する―

ア 会期 令和7年4月1日（火）～5月6日（火）開館日数 32 日

イ 観覧料 一般：600（500）円、学生 410（310）円
（ ）内は 20 名以上の団体料金

ウ 観覧者数（区分別の人数）

	人数	割合
一般	606 人	93.9%
高校・大学生	5 人	0.8%
小・中学生	25 人	3.9%
就学前児童	9 人	1.4%
計	645 人	100.0%

エ 観覧者アンケートの結果（回収アンケート数 194 人）

*前年度会期（3月9日（日）、3月15日（土）～3月31日（月）を含む）

	回答数	割合
とても良い	86 人	44.3%
良い	81 人	41.8%
普通	19 人	9.8%
あまり良くない	6 人	3.1%
良くない	1 人	0.5%
（記入無し）	1 人	0.5%
計	194 人	100%

オ 企画展関連イベント等

（ア）ワークショップ「ベニヤ板で平版の水性摺りを体験しよう！」

- ・開催日時 4月19日（土）14：00～16：00
- ・参加人数 11 人

② 佐久市立近代美術館・佐久市立天来記念館連携企画 比田井天来とその流れ

ア 会期 令和7年5月17日(土)～6月22日(日) 開館日数 32日

イ 観覧料 一般：600(500)円、学生 410(310)円
()内は20名以上の団体料金

ウ 観覧者数(区分別の人数)

	人数	割合
一般	650 人	95.6%
高校・大学生	12 人	1.8%
小・中学生	17 人	2.5%
就学前児童	1 人	0.1%
計	680 人	100.0%

エ 観覧者アンケートの結果(回収アンケート数 162 人)

	回答数	割合
とても良い	73 人	45.1%
良い	68 人	42.0%
普通	16 人	9.9%
あまり良くない	2 人	1.2%
良くない	1 人	—
(記入無し)	3 人	1.9%
計	188 人	100%

オ 企画展関連イベント等

(ア) 講演会「比田井天来と桑鳩・鷗亭・翠邦・右卿・南谷」

- ・開催日時 5月25日(日) 14:00～15:30
- ・講師 比田井和子氏(株式会社天来書院取締役会長)
- ・参加人数 41人

(イ) 席上揮毫会

- ・開催日時 6月7日(土) 14:00～16:00
- ・講師 内田 藍亭(書宗院運営理事)、金子 大蔵(創玄書道会評議員)、本田 英之(奎星会同人会員)、松尾 鴻(独立書人団理事)
- ・参加人数 56人

③ 「佐久平の美術展」の作家たち

ア 会期 令和7年7月19日(土)～8月31日(日) 開館日数 39日

イ 観覧料 一般：600(500)円、学生 410(310)円
()内は20名以上の団体料金

ウ 観覧者数(区分別の人数)

	人数	割合
一般	1,312人	90.0%
高校・大学生	35人	2.4%
小・中学生	94人	6.5%
就学前児童	16人	1.1%
計	1,457人	100.0%

エ 観覧者アンケートの結果(回収アンケート数 291人)

	回答数	割合
とても良い	120人	41.2%
良い	127人	43.6%
普通	28人	9.6%
あまり良くない	6人	2.1%
良くない	1人	0.3%
(記入無し)	9人	3.1%
計	291人	100%

オ 企画展関連イベント等

(ア) 出品作家によるギャラリートーク①

- ・開催日時 7月19日(土) 13:30～14:30
- ・講師 小林冴子・須藤友丹
- ・参加人数 15人

(イ) 出品作家によるギャラリートーク②

- ・開催日時 8月3日(日) 13:30～14:30
- ・講師 白鳥純司・春原中道・ハナサトミツキ
- ・参加人数 27人

(ウ) 出品作家によるギャラリートーク③

- ・開催日時 8月17日(日) 13:30～14:30
- ・講師 齊藤智史・高柳剛士
- ・参加人数 43人

④ 佐久地域ゆかりの作家 塩川高敏

ア 会期 令和7年9月13日(土)～11月3日(月) 開館日数 45日

イ 観覧料 一般：600(500)円、学生 410(310)円
()内は20名以上の団体料金

ウ 観覧者数(区分別の人数)

	人数	割合
一般	1,183人	88.3%
高校・大学生	52人	3.9%
小・中学生	90人	6.7%
就学前児童	14人	1.1%
計	1,339人	100.0%

エ 観覧者アンケートの結果(回収アンケート数 356人)

	回答数	割合
とても良い	178人	50.0%
良い	144人	40.4%
普通	25人	7.0%
あまり良くない	1人	0.3%
良くない	—	—
(記入無し)	8人	2.2%
計	356人	100%

オ 企画展関連イベント等

(ア) ワークショップ「スライム アクアリウムをつくろう！」

- ・開催日時 9月20日(土) 10:00～11:00
- ・参加人数 11人

(イ) 講演会「画家・教育者 塩川高敏-水と空気・理想と現実のはざままで」

- ・開催日時 10月18日(土) 14:00～16:00
- ・講師 小野環(美術家・尾道市立大学美術学科教授)
- ・参加人数 40人

(6) その他の開催イベント等

ア スタッフによる展覧会ガイド

- ・開催日時 5月18日(日) 14:00～15:00
- ・参加人数 1人
- ・開催日時 7月27日(日) 13:00～14:30
- ・参加人数 5人
- ・開催日時 8月9日(土) 13:30～14:30
- ・参加人数 7人
- ・開催日時 9月23日(火) 14:00～15:00
- ・参加人数 3人
- ・開催日時 11月2日(日) 14:00～15:00
- ・参加人数 8人

イ 対話型鑑賞

(ア) 「絵を見ておはなし鑑賞ツアー」こどもの会

- ・開催日時 11月1日(土) 10:00～11:00
- ・参加人数 2人

(イ) 「絵を見ておはなし鑑賞ツアー」大人の会

- ・開催日時 11月1日(土) 14:00～15:00
- ・参加人数 2人

ウ ワークショップ「天然木でカラフルな魚の彫刻をつくろう」

- ・開催日時 3月29日(日) 9:30～12:30
- ・講師 櫻井かえで(彫刻家)
- ・参加人数 7人

エ めいぐるみお泊り会

- ・お預かり日 3月17日(火)～22日(日)
- ・お迎え日 3月26日(木)～31日(火)
- ・参加 10体

オ 第21回佐久市児童生徒写生大会

- ・開催日時 10月12日(日) 8:45～15:00
- ・会場 佐久市立近代美術館・駒場公園・茨城牧場長野支場
- ・参加人数 26人

カ 公募 第40回 佐久平の美術展(再掲)

(ア) 会期 1月4日(日)～1月25日(日) 開館日数 19日

(イ) 主管 佐久平の美術展実行委員会

(ウ) 審査員 ・内田あぐり(日本画家)
・近藤昌美(画家・審査長)
・瀧本光國(彫刻家)

(エ) 展示作品数 84点(入選75点、審査員4点、実行委員5点)

(オ) 観覧者数 968人(令和6年度1,282人)

(カ) 応募状況

部 門	平面部門	立体造形部門	計
応募点数	68点	7点	75点
うち入選点数	68点	7点	75点
うち入賞点数	11点	1点	12点

※内訳

一般 74 人（平面 67 点・立体 7 点）、20 歳未満 1 人（平面 1 点）
入賞作品内訳 最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、奨励賞 4 点、新人賞 2 点、
審査員特別賞 3 点

(キ) 授賞式

- ・開催日時 1 月 10 日（土）14：00～14：45
- ・会場 佐久市立近代美術館 視聴覚室

(ク) 作品鑑賞会

①受賞作品を中心に

- ・開催日時 1 月 10 日（土）14：45～15：30
- ・参加人数 40 人
- ・講師 近藤昌美（画家）

②入選作品を中心に

- ・開催日時 1 月 18 日（日）14：00～15：00
- ・参加人数 30 人
- ・講師 内田あぐり（日本画家）

キ 日向裕・綾美術コンクール ギャラリートーク

- ・開催日時 2 月 14 日（土）11：00～11：50
- ・参加人数 44 人

ク まちじゅう美術館（近代美術館以外での展示）

- ・展示場所及び点数
浅間総合病院 3 点・シルバーランドきしの 2 点・コスモホール 1 点
- ・会期 通年（年 1 回展示替え）

ケ 月替わりコレクション紹介

インターネットで収蔵美術品を楽しめるよう、通年（計 12 点）、収蔵美術品の
写真をホームページで公開

コ 第 23 回佐久市立近代美術館友の会作品展（佐久市立近代美術館友の会事業）

- ・会期 2 月 15 日（日）～2 月 22 日（日）

(7) 収蔵美術品修復事業

ア 修復作品 下田義寛「花の時」

イ 修復費用 1,076,900 円

内、クラウドファンディング型ふるさと納税寄附金（7 件／募集期間 10/4～
12/31）110,000 円を充当）

令和 8 年度の事業について

1 展覧会について

別添「展覧会案内」参照。

2 佐久市デジタルミュージアムについて

令和 8 年 3 月 12 日(木)に開設(主管：文化振興課)。収蔵美術資料の情報を掲載。情報は随時更新するとともに、展覧会やワークショップ等のイベント情報も掲載。VR 展示室は年に 2 回更新予定。館内で展示している収蔵美術資料のキャプションに QR コードを設置。

URL: <https://saku-digitalmuseum.jp/>

3 収蔵美術資料の修復について

修復作品：中村貞以「待つ宵」1933 年

＊クラウドファンディング型ふるさと納税を実施予定。

4 博物館の再登録について

令和 8 年度中に再登録の申請予定。

令和 9 年度以降の事業に関する方針について

1 事業方針

美術文化振興のため、収蔵する美術品の調査研究及び保存管理を行い次世代に継承し、地域住民が美術鑑賞できるように展覧会等事業を行う。

地域住民が美術に親しみ、美術に関心を高める機会とするため、公募展・講演会・講習会等の事業を行う。

2 企画展について

(1) 平山郁夫美術館所蔵作品を中心とした展覧会

概要：平山郁夫美術館所蔵の作品群（約 50 点）を中心に、しまなみ海道、宮島、瀬戸内の島々を描いた水彩画および日本画を展示する展覧会

開催時期：令和 9 年 7 月～ 8 月頃

(2) 松井康成に関する展覧会

概要：「練上手」で長野県初の重要無形文化財保持者となった望月町（現 佐久市）出身の陶芸家・松井康成（1927-2003）の生誕 100 年を記念した展覧会

開催時期：令和 9 年 9 月～ 11 月頃

(3) 佐久地域の作家に関する展覧会

概要：佐久地域出身で活躍中の作家を調査、選出し、展覧会を計画

開催時期：令和 10 年以降

3 その他の事業について

(1) 収蔵美術資料の点検・修復

(2) 収蔵庫について

佐久市立近代美術館 現状と課題

I 現状

1. 設置

- ・設置者 佐久市
- ・所 管 佐久市教育委員会
- ・運 営 直営
- ・沿革
 - 昭和 56 年(1981) 7 月 建設工事着工
 - 昭和 57 年(1982) 6 月 佐久市立近代美術館条例及び同規則議決
 - 7 月 建物竣工
 - 昭和 58 年(1983) 登録博物館指定
 - 5 月 開館
 - 昭和 63 年(1988) 9 月 新館建設及び既設館改修のため休館
 - 平成元年(1989) 11 月 新館竣工
 - 平成 2 年(1990) 4 月 新装開館

2. 施設

単位 m²

建物	当初	現在	旧新比率
敷地面積	2,778.00	2,778.00	1:1.0
建築面積	976.586	1,569.464	1:1.6
延床面積	2,345.650	3,704.220	1:1.6

※鉄筋コンクリート造/一部鉄骨造/地上3階

展示・収納	当初	現在	旧新比率
展示室	1014.711	1404.985	1:1.4
収蔵庫	219.889	441.219	1:2.0
視聴覚室	144.055	144.055	1:1.0
備品倉庫	30.728	106.524	1:3.5

※展示室の内 156.790 m² 倉庫の内 56.2 m² は収蔵庫・書庫に転用

3. 収蔵美術資料

開館時	令和 8 年 3 月 31 日現在	増加率
673 点	3,458 点	5.14

※日本画・油彩画・水彩画・素描・版画・彫刻・工芸・書・その他・二次資料

4. 美術館協議会

佐久市立近代美術館条例に基づき佐久市立近代美術館協議会が設けられている
委員定数 10 名以内 任期 2 年

5. 職員体制(令和 8 年度)

近代美術館 館長 1(会計年度任用職員)
 " 事務長 1(正規職員)
 " 係長 1(")

〃 係 2(〃)
 〃 〃 1(〃 (再任用))
 〃 〃 2(会計年度任用職員)

※内学芸員資格保持者 4 名

※受付業務は佐久シルバー人材センターに委託

6. 予算

令和 7 年度決算 歳入 3,122,939 円
 歳出 93,306,959 円
 基金 近代美術館充実基金 228,099,000 円
 日向裕綾美術振興基金 8,276,000 円

7. 資料収集・保存

「令和 7 年度 近代美術館 事業報告」参照

8. 展示 (令和 7 年度)

「令和 7 年度 近代美術館 事業報告」参照

9. 教育普及 (令和 7 年度)

- ・市内小中高校からの見学・職場体験を受け入れ
- ・公民館・図書館・近代美術館 3 館連携の施設巡り実施
- ・「教員のための博物館の日」(東京国立科学博物館主催)に参加

10. 佐久市立近代美術館友の会

美術に関心を持つ人々の集まりで 会員の教養・親睦を深めるとともに美術館の活動を援助し協力することを目的とする任意団体
 会員数 70 名 (令和 8 年 5 月 6 現在)

11. 利用状況 (令和 7 年度)

単位人

一般	高校・大学生	小・中学生	就学前児童	無料区域	合計
7,271	161	907	226	407	8,972

II 課題

1. 設置

(博物館法)

- ・令和 4 年 4 月に多様化・高度化した役割に対応するため、博物館法の一部が改正され、令和 5 年 4 月 1 日施行された。同法で新たに追加された事業（登録枠の拡大・デジタル化・文化観光等の事業実施）については、「佐久市立近代美術館条例」第 3 条 6 号で対応できているため、条例改正の必要はない。

(博物館登録)

- ・現在の近代美術館は、改正された博物館法のもとで、令和 9 年度末まではみなし登録博物館である。登録博物館の指定を維持するには、令和 9 年度末までに新基準（博物館の事業等）に対応していると都道府県において認定されることが必要になる。

- ・県教育委員会（生涯学習課）に、現状での再申請について照会し、登録可能であることを確認したため、令和8年度中に提出書類等の準備を進め申請する。
- ・再認定されるまでは、みなし登録博物館として事業を継続する。
- ・デジタルデータベース管理については、デジタルミュージアムを令和8年3月に開設している
- ・学芸員の配置は必須であるが、資格を有する者を配置していれば学芸員としての辞令がなく一般事務と学芸業務を行っていても基準に適合していると認められる（県教委の見解）とのことであるが、美術館運営の観点から、学芸員の人数と配置を確保することが適切である。

2. 施設

（老朽化）

- ・旧館は竣工後43年、新館は36年が経過。施設や設備の老朽化が顕著で内装・外装等含めて施設の全面的な改修が必要である。
- ・令和3年度に策定した個別施設計画では「機能保持」「長寿命化(計画的保全)」を基本方針とし、令和6年度は市民意向調査を実施した。市の当面の課題である中央図書館や駒場公園の再構築の動向を受け、引き続き市民の意向を把握しながら、再整備の基本構想・計画策定のための会議を実施する準備をしていく。

（収蔵庫）

- ・開館当初と比べ収蔵資料は5倍を超えており、収蔵庫の増設が必要である
- ・特別展示室を転用した収蔵施設は収蔵庫不足の抜本的解決ではなく、一時的なものである。
- ・施設の老朽化と収蔵庫の不足を一つの課題と捉え 課題解決方法を検討する。佐久創造館の閉館時期の延長や中央図書館の建替再整備の方針などの周辺施設の動向を受けて、建替えや改修についての検討も併せて行っていく。

（設備）

- ・空調・温湿度管理・監視・警備等 設備の改修が必要。
- ・照明器具LED化等 電気設備の改修が必要。
- ・以下については改修・修繕を実施した。
 - 平成20年度 旧館空調設備改修工事を施工
 - 平成29年度 旧館屋根（東側）改修工事を施工
 - 平成30年度 新館外壁（西側）改修工事を施工
 - 令和元年度 エレベーター2基改修工事を施工
 - 令和4年度 新館外壁（東側）改修工事を施工
 - 令和5年度 非常用放送設備等改修工事を施工
 - 令和6年度 受水槽 ポンプ交換等修繕工事を施工

3. 収蔵美術資料

（収蔵美術資料の経年劣化）

- ・収蔵美術資料は制作後50年以上経過したものが増加し、経年劣化等がみられるため、作品の状態調査を行い、調査結果による修復計画をたて、修復を進める必要がある。
- ・収蔵美術資料の保存・修復については、2033年（令和15年）の開館50周年に向けて、「油井コレクション」の日本画作品を中心に、作品の状態調査に基づき、年1点程度の修復を継続していく。
令和8年度修復予定作品：中村 貞以《待つ宵》
経費の一部を補填するため「収蔵作品保存修復プロジェクト」として「クラウドファンディング 型ふるさと納税」も継続して実施する。

- ・田辺光彰制作 彫刻「さく」については、5年ごとに保守点検を実施してきた(前回：平成30年 綿半鋼機 約238万円)が、より安全な作業で詳細な保守点検を行うためには足場だけで1,800万円と積算されている。保守点検の実施方法について近代美術館充実基金の活用も検討し実施する。

4. 再構築

- ・現実的には、創造館や図書館の施設・建物がどうなるかの方向を受けてからになると思われるが、令和6年度に市民意向調査を実施したように、アンケートや再構築に関するワークショップ等で市民の意向の把握に努めながら、当館の今までの歴史や経験をもとにして(当館のコレクションを考慮した、展示作業がしやすい収蔵庫の動線や規模・燻蒸室など)、開館50周年に向けて、さらにその先の50年に向けて、展示から収蔵作品の保全・補修、施設の活用まで、誰にとっても使いやすく親しみやすい施設になるように基本構想案の作成を進める。

5. 利用者数

- ・コロナ過で減少した利用者数が徐々に回復してきているものの目標観覧者数には達していない。→昨年度は文化庁が実施する「博物館機能強化推進事業(専門的人材派遣)」を通して広報のありかた等について専門家のアドバイスも受けたが、さらに工夫と予算が必要である。

6. その他

- ・佐久美術展から

…事前の準備が大変だったが、打ち合わせの準備を充分していただき、事故も無く無事に終わり、会員の皆さんから「80周年で美術館が使えて本当にうれしい」と喜んでいただき、市長も「佐久美術会員の皆さんがこれほど喜んでくれるとは…。美術館で実施できてよかった。」と申ししていた。多くの作品が集まり、初めての美術館での展示等で、前日準備の2日間で展示が出来るか心配であったが、当日勤務の美術館スタッフも総出で照明のセットと、最終日にも撤収をお手伝いして間に合った。継続していくには、美術会のスタッフのみで、美術館では場所や機材を提供してやっていければ良い。今回はその足掛かりができた。

…当館の50周年に向けてはあと6年間であるが、これからの美術館の構想が具体化するまでにはまだ時間がかかると思われる。そこまでの間も来館される方たちにとって良い場所であってほしい。今の施設を傷めないように大切に使うことと同時に、劣化した機械など、現状の設備の補充や整備をすすめることで、不便や我慢をすることなく、今の美術館を快適に活用できる環境にしたい。

- ・若い人や美術館をよく知らないという人に美術館に親しんでほしい。

…現在、市内の高校の美術教科の先生や美術班を訪問して、生徒向けに美術館を紹介する機会を設けてもらえるようお願いをしている。

…使う資料は美術館の概要や企画展・コレクション展について、パワーポイントの画像をプロジェクター等で紹介するもの。資料作成に当たっては、美術館のスタッフで著作権等も含めて検討している。学校訪問を何回か繰り返すうちに「いってみようか」という生徒さんが一人でも二人でも出てくれるとありがたい。他にもサークルや会社などで、休憩時間に見てもらっても良いというところがあればと思う。著作権上の制約があり、美術館で作ったデータだけを渡して後で時間のある時に皆さんで見てくださいというわけにはいかないため、美術館のスタッフが資料を作り、持参してお伝えするという形になる。